

好評連載

# 住設リフォームガイド

現調・施工実績35万件以上！メガバックスの住設ソムリエが直伝！

1日に数十件とバス・キッチンの現場調査と工事を手掛けるメガバックスの住設ソムリエたちが、これまでに培ってきた住設リフォームの知恵と技術をお伝えします。

第8回

## 浴室改修の現調の注意点

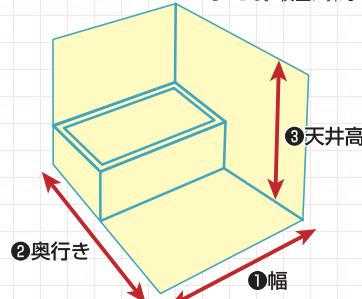
**箱の中に箱を入れる  
システムバスは採寸が鍵**

こんにちは、メガバックスの大高です。今回は「システムバスの現調」時における注意点についてお話しします。

### 現場調査の基本ポイント

#### 採寸の基本

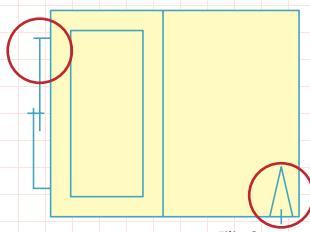
浴室の幅・奥行き・高さを測ろう。  
採寸を間違えると施工不可能になることも。慎重に採寸しよう。



#### 窓の確認・ドアの勝手

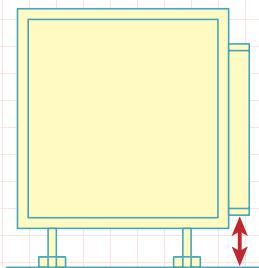
##### 窓の確認

窓の幅や奥行き、高さなどサイズを測ろう。  
また窓がある面や窓の位置も確認する。



ドアの勝手  
ドアの勝手やバリエーション、  
サイズや幅・高さを確認する。

#### 架台の高さ



架台の高さを確認しよう。既存がシステムバスで土間コンクリートまでの深さがわからない場合は、深め・浅めと複数の架台を入れる等の対策を考える。



#### ワンポイントレッスン

##### ミス・クレームは関係を深めるチャンス

どんなに気をつけていても、必ず起きてしまうのが現調ミスや、施工不良・事故です。クレーム対応は起きた問題の種類にもよりますが、基本的に事態の確認→原因の特定→復旧作業の流れで解決を目指します。とにかく初動が大切なので、可能な限り迅速に状況確認と謝罪の連絡を入れましょう。

ミスやクレームはマイナスの事態ですが、学べる事は沢山あります。今まで自分が気にする事ができなかった部分を確認できますし、お客様とのやりとりが増え、誠意を持って対応する事で相手との関係がより深まるチャンスにも繋がります。信用回復に時間はかかりますが、再発防止を徹底して、失敗してしまった事を未来の成功に変えてみましょう。



自社で作成している新人用  
の現場調査マニュアルから  
エッセンスを紹介します。

がシステムバスになります。システムバスは既製品ですが、現場のサイズや構造など既存浴室の状況がそれぞれ異なる為、如何に完成後のシステムバスをイメージしながら現調出来るかがポイントになります。

現調の基本は、浴室のサイズ幅・高さ・奥行きを測ることです。次にドア勝手がどこか確認します。この2つは特に重要で、これを間違えるとシステムバスを組立てる事すら出来ません。間違えない様にしっかりと確認しましょう。またドアのサイズや位置、架台、給湯器や換気扇の確認も施工には欠かせません。左のページに、現場調査の際の注意点をまとめたので、確認しましょう。

#### 柱の位置に注意 ドア施工に影響する

柱に、浴室リフォームの現場でよく起るシステムバスのミスケースについてお話しします。一番と言つていい程多くあるのが、浴室ドアと柱の関係です。システムバスに標準で設定されているドアは、3尺の芯（910ミリ芯）で入っている柱と干渉するケースがあります。次に気付けたいのは、在来工法の浴室において、土台等の腐食防止の為、膝位の高さまで基礎を高くした高基礎構造になっている場合です。高基礎の場合は、設置有效寸法がとれない場合があるので注意が必要です。高基礎かどうかは建築当初の図面で確認するか、もしくは、壁を叩いたときの音で判断出来る場合があります。他に換気扇や水洗器具類でもミスが発生しないなどで、48頁で確認してください。

これまでに何度もお伝えしているように、システムバスは納期かかる商品です。以上の注意点を踏まえ、商品を選定し発注する様に繋がることを期待しています。

メガバックス株式会社  
[www.megabaxx.co.jp](http://www.megabaxx.co.jp)

事業内容：  
リフォーム企業支援サイト「megab.net」運営  
(<http://megab.net>)運営  
B2B/SaaS(システムフォーム代行サービス)  
ネットリフォーム事業  
リリバ住設ネットリフォームショップ  
<http://www.rerepa.jp>  
リリバ(楽天・Yahoo!ショッピング・Amazon)

所在地：神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町1170-1  
創業：1985年・設立：1992年3月13日  
代表者：代表取締役 小林哲也

スタッフ絶賛募集中



#### メガバックス 大高 春さん

メガバックス住設リムジンの統括マネージャーとして活躍。大学卒業後に同社へ入社し13年目。自身も年間1400件以上を現場調査している住設のスペシャリスト。リフォームユーザーからは説明が明確と指名するファンも多く、システムバス・キッチンと人からの信頼は勿論の事、豊富な知識と経験で統括マネージャーとして奮闘中！

## よくあるミスケース

### 給湯器が対応していない!

給湯器が浴室隣接型・自然循環型(2穴タイプ)の場合、システムバスでは対応していません。また、追いだきが無い場合の注意点として、最近のシステムバスでは、標準仕様で浴槽側に落とし込み用の水栓が無い商品が多く、気付かず発注して、浴槽にお湯を張れないというミスがあります。追いだきの有無は必ず確認して商品を選定しましょう。

### 水栓器具面に窓がくる!

窓を交換しない場合は、水栓器具取り付け用の下穴は工場加工なのか、現場加工なのか、またどの器具をどこに移設するか検討しましょう。この器具を移設する際に注意したいのが、メーカー(商品)によっては、この器具の取付位置に事前に工場で器具取付用の下穴加工がされる商品がある事です。商品を発注前にメーカーや販売店に確認することや、移設する器具の位置をある程度決めておくなどが必要です。

### 換気扇が対応していない!

新規に電気式の浴室換気乾燥暖房機を設置する場合、分電盤から新たに専用回線を引く必要があります。浴室から分電盤までの位置や、分電盤に空きがあるか確認しましょう。

### 高基礎で商品が納まらない!

高基礎での注意点は、基礎が柱(土台)よりも内側に出ている場合があり、それにより設置有効寸法がとれない場合がある事です。対処法としては、基礎の出ている部分を削る(研る)か、システムバスの必要設置有効寸法の小さい商品を選択するになります。同じサイズ規格でも商品によって必要設置有効寸法が異なるため、十分に検討する必要があります。

### ドア横に柱がある!

1番と言っていい程多くののが、浴室ドアと柱の関係です。システムバスの標準の設定のドアでは、3尺の芯(910ミリ芯)で入っている柱と干渉するケースがあります。対処法としては、柱をずらす様にするか、システムバスのドアのサイズを変更するになります。柱をずらす際は補強出来るかどうかを大工さんに相談して決めましょう。柱はそのまま、ドアサイズでかわす場合は、各メーカーで標準より狭いドアサイズがありますので、そちらを選びましょう。